

関東峰浜ふるさと会第24回総会開催
合併に向けて最後の総会

11月24日、第24回関東峰浜ふるさと会が東京のアルカディア市ヶ谷で開催されました。事実上今回が最後の総会となることから、町や農協、近隣ふるさと会などの来賓や会員あわせて約150名と、昨年を上回る参加者数となりました。

総会では東京八森会との合併について、米森三太郎会長が「合併に向けて会を転進させていきたいので賛同願いたい」と発言し、満場一致で承認されました。会場には東京八森会から会長や役員など8人が参加し、大きな拍手を送っていました。首都圏のふるさと会の合併については、6月の東京八森会においても承認されていることから、今後、合併準備委員会を2か月に1回程度開催し、来年秋の新たなふるさと会設立に向け協議していくこととなります。



ふるさとを語り合いました

人々の温もりに満ちたまちづくりを目指して
八峰町社会福祉大会を開催

11月21日、ファガスで第3回社会福祉大会が開催され、福祉関係者や住民ら約200人が参加しました。

式典では、八峰町社会福祉協議会の菊地会長が挨拶を述べたあと、地域福祉に尽力した12人に表彰状や感謝状を贈呈しました。

式典後には、八森中学校2年生による「音楽で心を癒しましょう」と題したミニコンサートが開催されたほか、映画の上映などが行われ、参加者は今後の福祉をより一層発展していくことを誓い合いました。



さらなる福祉の発展を誓いました

季節ハタハタ漁
港に活気があふれる



大漁で網からはずす作業も大忙し

今年も季節ハタハタ漁のシーズンが到来。県内沿岸のハタハタ漁が11月25日に解禁となり、沿岸にはたくさんのお網が仕掛けられました。

今年の初漁は、昨年より2日早い11月26日で、28日には大量のハタハタが接岸し漁が本格化しました。岩館・八森両漁港ではハタハタの箱詰め作業や網はずし作業があちこちで見られたほか、ハタハタ釣り人で岸壁が埋め尽くされるなど、港は一気に活気付きました。

講演「もったいないエコタウンづくり
廃食油リサイクル事例を紹介」



まずは身近なエコから

11月27日、ファガスで八峰町地球温暖化防止講演会が開かれました。講師の高木嘉雄氏はNPO法人エドがわエコセンター事務局長を勤めており、同センターでは廃食油リサイクルなど住民参加による環境づくり活動を進めています。

「もったいない」でめざすエコタウンづくり」と題した講演では、廃食油リサイクルに関する事例や住民が自発的に取り組んでいるゴミを減らす活動を紹介。「地球温暖化防止とかではなく「もったいない」という思いを受け継いでいくことが大切。」と、身近なものからはじめることの大切さを語りました。

町では廃食油回収を畑合地区と岩館地区で試験的に実施する予定です。また、この講演会は全国モーターボート競走施行者協議会からの助成を受けて実施したものです。

大人から子どもまで大学の研究に触れる
秋田大学出張キャンパス
in 八峰町

11月8日と9日の2日間、「秋田大学出張キャンパス in 八峰町」があった白神体験センターで開講しました。これは7月に協定書を交わした「秋田大学教育文化学部との連携」の一環として行われたものです。講演では酸性雨や十和田湖巨大噴火、能代山本地方の風土と方言などが行われたほか、子ども向けとしてクラブト教室や噴火実験教室が開催されました。

各講演とも大人から子どもまでたくさんのお客さんが訪れ、秋田大学の研究や教育に触れていました。



噴火実験に大歓声

特産石川そばに舌鼓
おらほの館で新そば祭り

11月23日、産直施設「おらほの館」で新そば祭りが行われ、たくさんのお客さんが訪れました。

石川そばとは地元産100%のそば粉とつなぎに豆乳を使うなど、江戸時代から受け継がれた技法で作られた伝統的な特産品です。

この祭りは特産の石川そばをPRしようと毎年行われているもので、今年では約300食の香り高い新そばが無料で振舞われました。

このほか手打ちそばの実演が行われるなど、会場は終始にぎわいを見せていました。



出来立ての新そばに舌鼓

映画「ふみ子の海」上映会
視覚障害者の半生に涙！



感動を呼ぶ名作

映画「ふみ子の海」上映会が11月21日にファガスで、12月1日に峰栄館で開催され、たくさんの方が鑑賞しました。

「ふみ子の海」とは視覚障害児教育や盲女性の地位向上に生涯を捧げた粟津キヨ(1919～1988)の少女時代を描いた映画で、貧困のため幼くして全盲というハンデを背負いながらも、明るく前向きに生きようとすふみ子の姿が映し出されています。

想像を超える困難にあいながらも、希望を胸に生きていくふみ子の姿に涙する方が多く見られました。この上映会は八峰町社会福祉協議会が開催したもので、この収益金の一部が社会福祉法人全国盲ろう社協会に寄附されます。

ぶなっコランドで
本格的な木炭づくり挑戦



本格的な炭窯で炭作りを体験

11月30日、ぶなっコランドで木炭作り教室がおこなわれ、町内の親子連れなどが参加しました。

はじめに秋田豊さんから炭作りについての説明を受けたあと、いよいよ炭窯に火入れ。薪をくべるのが珍しくなったこともあり、参加した子どもたちは歓声を上げながら喜んで作業に取り組んでいました。

炭出しは翌日ということで、参加者は完成品を見ることが出来ませんでした。本格的な炭作りを体験していただきました。